Market Letter 情報提供資料

ブラジル金融政策（2026年9月）

5会合連続の利下げ

2026年9月17日

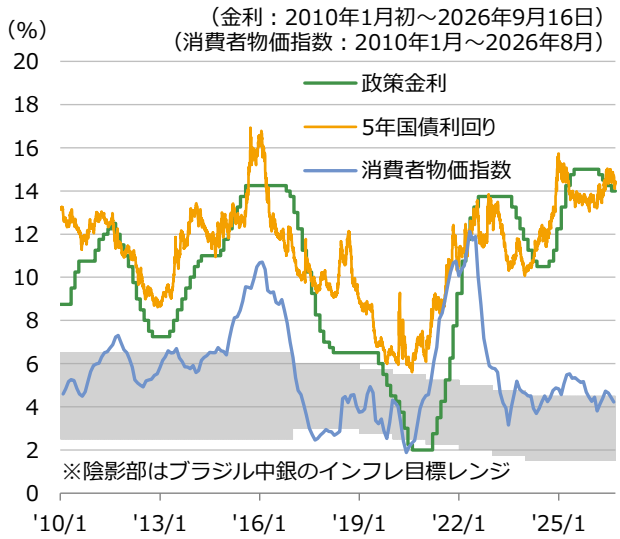
今後の利下げペースは、大統領選挙の結果に大きく依存する見込み

ブラジル中央銀行は9月15～16日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を14.00%から13.75%に引き下げることを決定しました。利下げは5会合連続です。

前回会合以降に発表されたデータは経済活動が徐々に鈍化していることを示唆し、インフレ率（消費者物価指数・前年比）は中銀の目標レンジ（3±1.5%）の上限を下回るまで低下しました。こうした状況の下、声明文では「今回の利下げ決定は、インフレ率を目標水準（3%）付近に収束させる戦略と整合的であると判断した」と記されました。また、先行きの不確実性が高い中、「金融政策の運営においては冷静さと慎重さが求められる」とし、今後の利下げはデータ次第との姿勢が維持されました。

不確実性の要因は、中東情勢や主要先進国の金融政策のみならず、国内の政治情勢にもあります。ブラジルでは10月に大統領選挙を控えています（第1回投票が4日に実施され、過半数の票を獲得する候補者がいなければ上位2名による決選投票が25日に実施される）。フラビオ・ボルソナロ氏とルラ現大統領の優劣は揺れ動いていますが、もしフラビオ・ボルソナロ氏が勝利して政権交代となれば、拡張的な財政政策からの転換や米国との関係改善、構造改革などが想定されるほか、通貨高の反応も期待されるため、中銀は利下げを進めやすくなると考えられます。一方、ルラ現大統領が勝利すれば、当初は通貨安の反応となることで、中銀は通貨安からのインフレ圧力を抑制するため、利下げにより慎重になると考えられます。

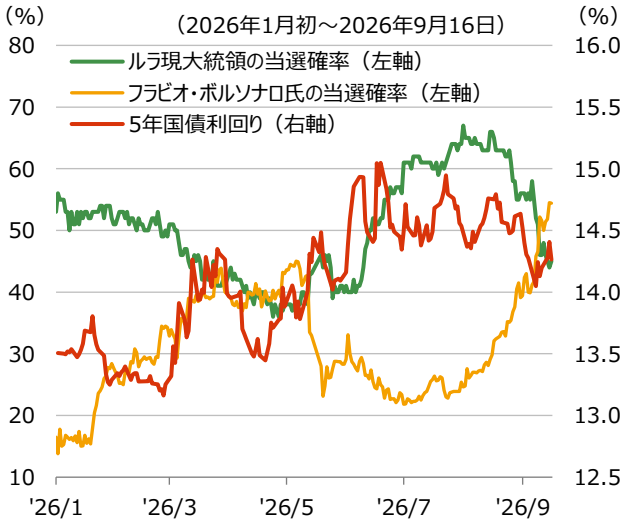
ブラジルの金利とインフレ率



※消費者物価指数は前年同月比

（出所）ブルームバーグ、ブラジル地理統計院、ブラジル中央銀行

ブラジル大統領選挙の当選確率と金利



※当選確率は賭けサイトPolymarketに基づく

（出所）Polymarket、ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。